

| 日 | 順番 | 質問予定者氏名 | ページ番号 |
|-----------|----|-----------|--------|
| 12月11日（木） | 1 | 草間和幸 | 2 ページ |
| | 2 | こんどう彰治 | 3 ページ |
| | 3 | 櫻庭節子 | 4 ページ |
| | 4 | 高橋浩輔 | 5 ページ |
| | 5 | 本城文夫 | 6 ページ |
| | 6 | 関川信之 | 7 ページ |
| | 7 | 橋本洋一 | 8 ページ |
| 12月12日（金） | 8 | 江口修一 | 9 ページ |
| | 9 | 渡邊希 | 10 ページ |
| | 10 | 宮崎朋子 | 11 ページ |
| | 11 | 中土井かおる | 12 ページ |
| | 12 | 山田忠晴 | 13 ページ |
| | 13 | 牧井邦生 | 14 ページ |
| | 14 | 西沢智子 | 15 ページ |
| 12月15日（月） | 15 | 伊崎博幸 | 16 ページ |
| | 16 | ストラットン恵美子 | 17 ページ |
| | 17 | 熊倉隆将 | 18 ページ |
| | 18 | 上野公悦 | 19 ページ |
| | 19 | 降旗太地 | 20 ページ |
| | 20 | 山本佳洋 | 21 ページ |
| | 21 | 小林和孝 | 22 ページ |
| 12月16日（火） | 22 | 安田佳世 | 23 ページ |
| | 23 | 高山ゆう子 | 24 ページ |
| | 24 | 宮川大樹 | 25 ページ |
| | 25 | 橋爪法一 | 26 ページ |
| | 26 | 平良木哲也 | 27 ページ |
| | 27 | 滝沢一成 | 28 ページ |

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 草 間 和 幸

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 当市における鳥獣被害対策について (1) 住民の安心安全の確保のため、市としてどのような対策をしてきたのか。また、今後どのような取り組みを行うのか。 (2) 住民から鳥獣目撃の連絡があった際、どのような対応で住民の安全を確保しているのか。 (3) 市と地元猟友会の連携はどのように行われているのか。 (4) 有害鳥獣を駆除した際、市に対し抗議の電話等はあるのか。また、ある場合、その対応はどのように行っているのか。 (5) 県が「クマ被害に対する緊急対策」として県内市町村に対し、約 8 千万円の財政支援を行うが、当市の配分額はどうか。また、どの部分を重点に活用する考えか。 (6) イノシシ等による水田や農作物の被害状況をどのように把握しているか。また、被害防止のためどのような対策を行っているのか。 (7) 当市の鳥獣対策の所管は、現在、環境部、農林水産部に分かれているが、昨今の情勢変化を見据え、今後の体制についてどう考えているか。 | | | | 市 長 |
| 2 局地的短時間豪雨対応について (1) 災害警戒本部や災害対策本部の設置基準を聞きたい。また、令和 7 年 9 月 3 日の局地的豪雨のような災害がピンポイントで発生した場合、災害対策本部を設置すべきと思うがいかがか。 (2) 道路冠水時の通行止めの対応は、どのように行っているのか。 (3) 令和 7 年 9 月 3 日の道路冠水による通行止めを受けて新たな対応策を考える予定はないか。 | | | | 市 長 |
| 3 小菅新市長が描く上越市の今後の農業ビジョンについて (1) 当市の農業は、広大な面積を有し、平場から中山間地域と栽培条件が違う農地が広がり、米を主産物とした食料基地として成り立っている。今後も上越の農業を維持させていくには中山間地域をはじめとする農地を守り、農業の担い手を確保することが大切だと思っている。これらを踏まえ、上越市における農業の位置づけと将来像について、市長の考えを聞きたい。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和 7 年 11 月 25 日

次のとおり通告します。

議 員 **こんどう 彰治**

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 市長公約等について (1) 「停滞した上越を復活させ、住みよい町をつくる」と訴えていたが、具体的な打開策を聞きたい。 (2) 喫緊の課題として物価高騰対策を挙げ、「国がいろいろな交付金を検討している。さらに市として何かやった方がいいのか研究しながら、速やかに対策を進めたい」と述べているが、現時点で市としての対策は考えているか。 (3) 13 区と合併前上越市をバランス良く活性化すると訴え、「高齢者も若者も集まり、冬に子どもが遊べるイメージ」として、任期中に廃校や空き家を活用し 13 区に「こどもセンター」を整備するとしているが、具体的なスケジュールなどを聞きたい。 (4) 前市政の政策を継続するかについて、「関係部局の説明を受けて考えたい」としているが、市長就任から 1 ヶ月以上が経過し、中でも通年観光計画や地域独自の予算事業の考えはまとまったのか。 (5) 前市長が決めた令和 8 年度予算編成方針では、特定財源を充当する継続事業について、特定財源の確保ができず代替財源もない場合、事業の一時休止等も検討するとの方針となっているが、この方針は継続するのか。 | | | | 市 長 |
| 2 市道に架かる橋梁の現状について (1) 橋梁の老朽化の目安は建設から 50 年とされているが、市道に架かる橋梁の老朽化の状況はどうか。また、どのように老朽化対策を行っているのか聞きたい。 (2) あまり利用されていない橋梁は将来的に撤去することも選択肢の一つと考えるが、その場合、地元住民に説明する機会は設けるのか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 櫻 庭 節 子

| 発言の種別 | 質疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|----|------|------|---|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 デジタル化に伴う「考える力」の育成について</p> <p>(1) 近年のデジタル技術の発展などにより大量の情報を簡単に入手でき、衣・食・住の生活環境が非常に便利となった。技術が技術を発展させ、未来までもが想像できる時代になったとも言えるが、自分自身で考えなくても便利に生活できる今の環境は、我々の「考える力」を退化させるのではないかという指摘がある。また、こうした技術革新が社会に与える影響を議論せずに私たちが受け入れてしまっていること自体が問題ではないかと考える。市として、これらのことについて問題意識は持っているか聞きたい。</p> <p>(2) SNSやスマートフォンの使用は現在では当たり前となったが、例えばオーストラリアでは、令和6年にハイスクールまでのSNSの使用を国の方針として禁止した。また、我が国でも愛知県豊明市が条例で「余暇のスマートフォン使用を1日2時間以内とする」ことを定めた。これら国や自治体による制限について市の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 学校教育ではタブレット使用が推進されているが、タブレット使用で懸念される「集中力の低下」、「コミュニケーション能力の低下」、「低学年における書く力の低下」、「視力の低下」、「いじめなどにつながるソーシャルメディアの管理の難しさ」について、市の対策を聞きたい。また、市の取組を進めるに当たって国や県による関与で支障が生じる懸念はないのか。</p> <p>(4) 社会問題となっているゲーム依存症について、子どもの創造性や芸術性、考える力の育成に悪影響を及ぼすと考えるが、市はどのように捉えているか。また、児童生徒におけるゲーム依存の現状と、その対策を聞きたい。</p> <p>(5) 大人のゲーム依存に関する市の独自の調査はあるか。また、市民が相談できる体制はどのように確保しているか。</p> | | | | 市 長 教育長 教育長 教育長 市 長 |
| <p>2 「生きる力」の育成について</p> <p>(1) 「いじめを許さない」というメッセージの発信は大切だが、学校卒業後の現実社会は「いじめ」や「差別」が当たり前のように存在する厳しい環境である。スローガンだけではなく、理不尽なこともある現実社会を教えた上で、「どのように対応して乗り越えるかを考えさせ、子どもの生きる力を育成する」ことが重要ではないか。学習指導要領の定義に拘らず、子どもの「生きる力」の育成について、市の考えを聞きたい。</p> | | | | 教育長 |
| <p>3 市内道路における安全性の点検について</p> <p>(1) 令和7年3月定例会で市は、埼玉県八潮市の道路陥没を受けた市の対応について「すぐに対応が必要と判定された下水道の幹線管路の腐食は無い」としたが、その後直江津地区の道路で陥没が発見された。市が迅速に対応して市民生活への支障は最低限に収められたが、この道路は空洞調査が行われていなかったのか。そうだとすれば、陥没の原因は何だったのか聞きたい。また、他の道路下における空洞の存在が危惧されるが、今後の点検方針は変わらないのか。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和 7 年 11 月 25 日

次のとおり通告します。

議 員 高 橋 浩 輔

| 発 言 の 種 別 | 質疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 市立図書館の運営と、利用や来館が困難な方々に対する支援の取組について</p> <p>(1) 公立図書館は「知のインフラ」として重要な存在であり、当市でも市立高田図書館・浦川原分館・頸城分館・直江津図書館が運営されているが、当市における図書館の設置目的は何か。また、その役割をどのように捉えているか。</p> <p>(2) これまでの図書館運営における成果と課題を聞きたい。</p> <p>(3) 利用や来館が難しい方々に対する支援にどのように取り組んでいるか。</p> <p>(4) 現在、県と市町村の協働による電子書籍の共同導入が検討されており、早ければ令和 8 年度中にも導入が予定されている。その目的と概要を聞きたい。また、どのような効果を期待しているのか。</p> <p>(5) 来館が困難な方々を対象に「図書宅配サービス」を導入すべきと考えるがどうか。</p> | | | | 教育長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和 7 年 11 月 25 日

次のとおり通告します。

議 員 本 城 文 夫

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 市政執行にあたる市長の基本姿勢について | | | | 市 長 |
| (1) 信頼と誠実、市民一人ひとりに寄り添った市政を訴えていたが、市政の現状をどのように認識し、市政運営する決意なのか聞きたい。 | | | | |
| (2) 市長自身の強みは政府中央で培った豊富な経験と幅広い人脈としているが、どのような手法で国や県との連携を強めていく考えか。 | | | | |
| (3) 二元代表制の中で市議会と対等の立場で尊重しあえるよう、どのように連携を強めていく考えか。 | | | | |
| (4) 多岐にわたる市長公約で、重点的に取り組む課題はどのようなものか聞きたい。 | | | | |
| 2 令和 8 年度予算編成に向けた考え方について | | | | 市 長 |
| (1) すでに令和 8 年度予算編成の基本方針が示されているが、国の経済対策や地方創生の推進など、当市に及ぼす影響をどのように捉えているか。また、市独自の物価対策の考えはどうか。 | | | | |
| (2) 市長公約で掲げた次の 3 点について、どのように予算に反映する考えか。 | | | | |
| ア 子育て世代・世帯の家計負担等の軽減 | | | | |
| イ こどもセンターの整備 | | | | |
| ウ まちづくり団体等との協力 | | | | |
| 3 上越地域医療センター病院の早期改築について | | | | 市 長 |
| (1) 老朽化した現状をどのように受け止めているか。早期改築について、市長はどのように考えているのか。令和 8 年 12 月までの改築着手前倒しの考えはどうか。 | | | | |
| (2) 上越地域医療構想調整会議の現状と見通しをどのように考えているのか。会議の議論が改築後のセンター病院の病床数にどのような影響を与えると認識しているか。 | | | | |
| (3) コンサルタントによる経営改善指導の見通し、改築規模、建設費軽減などの考え方について聞きたい。また、県立吉田病院が令和 8 年 2 月の着工、1 年 8 ヶ月の建設期間で 5 階建て 110 病床、事業費 84 億円で完成する予定だが、センター病院建設の参考とすべきではないか。 | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和 7 年 11 月 25 日

次のとおり通告します。

議 員 関 川 信 之

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 保倉川放水路の早期着工の取組について (1) 市長は市長選で保倉川放水路の早期着工を促進すると訴えていたが、具体的な取組について聞きたい。 | | | | 市 長 |
| 2 中山間地域の振興について (1) 人口減少が激しい中山間地域の振興策はどのように考えているか。例えば、13 区にある廃校を活用し、好適環境水を使用した魚の養殖施設とするなど、中山間地域の活性化に向けた支援をする考えはないか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 橋 本 洋 一

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 当市の現状と将来展望について (1) 市長選前に抱いていた上越市のイメージはどのようなものか。また、市長として目指す上越市の姿はどのようなものか。「こんな上越市にしたい。こんな上越市であってほしい」という市長の思いを聞きたい。 (2) 当市の最大の課題は人口減少社会と高齢化社会への対応と考えるが、市長の認識はどうか。また具体的な施策はあるのか聞きたい。 | | | | 市 長 |
| 2 豪雪対策について (1) 大雪災害時の災害救助法の適用基準の見直しについて、県への働きかけの状況とその結果について聞きたい。 (2) ワンオペ除雪の状況と今後の方針について聞きたい。 | | | | 市 長 |
| 3 超高齢化社会における自助・共助・公助について (1) 超高齢化社会における災害発生時の自助・共助・公助の考え方について聞きたい。 (2) 自主防災組織は現行のままで機能すると考えているか。また、今後も維持していけるのか。町内会ベースの組織のあり方を見直すべきではないか。自主防災組織の現状と今後のあり方について聞きたい。 (3) マイ・タイムラインの普及、浸透状況はどうか。 (4) 日常的な除雪に対する高齢者支援の考え方について聞きたい。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 江 口 修 一

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） | |
|--|-----|------|------|-----------|-------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | | 答 弁 者 |
| 1 13区における「こどもセンター」の整備について | | | | | 市 長 |
| (1) こどもセンターを13区に整備するとしているが、その目的は何か。また、どのような機能を持たせるのか聞きたい。 | | | | | |
| (2) 13区における整備の優先順位はあるのか。また、財源とスケジュールについて聞きたい。 | | | | | |
| 2 災害への備え、地域防災力の向上について | | | | | 市 長 |
| (1) 地域防災計画の見直しについて聞きたい。また、避難行動要支援者への避難支援や町内会による避難所運営、トイレやエアコンなどの避難所における環境の改善はどのように考えているか。 | | | | | |
| (2) 直江津地区での津波被害想定地域への施策として、津波避難ビルの指定要件緩和について、国や県へ働きかけを行う考えはないか。また、高額で大型な津波避難タワーではなく、他自治体の事例を踏まえて、小型で簡易型な津波避難タワーの整備について検討できないか。 | | | | | |
| 3 持続可能な行財政の運営に向けた対策について | | | | | 市 長 |
| (1) 持続可能な行財政の運営に向けて、以下の点をどのように考えているか聞きたい。 | | | | | |
| ア 事業の統廃合、アウトソーシングの拡大 | | | | | |
| イ 公の施設の統廃合や削減 | | | | | |
| ウ 未利用財産の売却や民間活用 | | | | | |
| エ 市職員の業務のDX化 | | | | | |
| 4 上越地域医療センター病院について | | | | | 市 長 |
| (1) 上越地域医療センター病院について、課題を見極め早期改築に向け検討を急ぐとしているが、改築コストの軽減や早期の改築につながるよう、改築の規模や整備手法の検討を行うのか。また、具体的な改築の時期はいつか。 | | | | | |
| (2) 厳しい経営状況の中、市の財政負担軽減のための改善策は考えているか。 | | | | | |
| 5 企業誘致による若者の定住について | | | | | 市 長 |
| (1) 若者にとって魅力ある企業を誘致するとしているが、どのような産業の企業を誘致し、若者の定住へつなげていくのか。 | | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 渡 邊 希

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|-----------------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 国家、郷土、母校への誇りと愛情を育む教育について</p> <p>(1) 国旗や市章、校章を学校の教室内に掲示する考えはないか。</p> <p>(2) 紀元節や上越市の市制施行、学校の創立経過について、それぞれの節目の日を中心に学校長や教員などが児童生徒に語る機会を設ける考えはないか。</p> <p>2 部活動の地域展開について</p> <p>(1) 部活動の教育的意義について聞きたい。</p> <p>(2) 平日の部活動が学校からなくなった場合の教育的な影響をどのように考えているか。</p> <p>(3) 各学校の意思で部活動を学校に残すことは考えられるのか。</p> | | | | <p>教育長</p> <p>教育長</p> |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和 7 年 11 月 25 日

次のとおり通告します。

議 員 宮 崎 朋 子

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 クマやイノシシなどによる深刻化する被害について (1) 11月19日に県が発表した「クマ被害に対する緊急対策」を受け、本市としてどのように取り組んでいくのか聞きたい。 (2) 大型鳥獣と遭遇しないために、出没頻度の高い河川の藪の刈り払いについてどのように取り組んでいくのか。 (3) 大型鳥獣による被害は農業、経済、教育等、市民生活全般に関わる問題である。市として分野横断的な対策に取り組むための部署を設置する必要があると考えるがどうか。 | | | | 市 長 |
| 2 市長公約で掲げるトイレ整備の方向性について (1) バリアフリー、美しく快適なトイレの整備の方向性について聞きたい。また、期待される効果をどのように考えているか。 | | | | 市 長 |
| 3 当市の環境美化活動の取組について (1) 本市では、過疎化により地域の目が行き届かず、まちの荒廃や治安が悪化する懸念がある。持続可能なまちづくりのために、環境美化条例の制定や官民協働のアダプトプログラムの取組を行ってはどうか。また、それらの成果を可視化できるゴミ拾いアプリ等の ICT の導入は、取組を推進する上で有効と考えるがどうか。 (2) 環境美化活動の推進は、当市の地価や空き家対策、移住定住、企業誘致等においても効果があり、税収の増加に繋がると考える。今後はその視点を持って分析を行い、活動を推進する必要があると考えるがどうか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月25日

次のとおり通告します。

議 員 中土井 かおる

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 紙おむつ購入の経済的負担軽減について</p> <p>(1) 物価高騰により紙おむつの価格が高騰しており、経済的に負担が大きくおむつの交換回数を減らしている家庭もあると聞く。市の紙おむつ給付事業は非課税世帯のみとなり、課税世帯の負担も大きいとの声がある。また、給付を受けている非課税世帯も、入院時は給付対象から外れる。一方で、自宅に大量の在庫があり、必要がなくなった際に廃棄に困っている家庭もあると聞く。必要な人に必要な紙おむつの提供が可能となるよう、市がイニシアティブをとり、余剰な紙おむつバンクのような仕組みづくりができないか。</p> | | | | 市 長 |
| <p>2 お年寄りの居場所とコミュニティづくりの支援について</p> <p>(1) 市長は「医療・福祉・介護の充実」におけるお年寄りの居場所とコミュニティづくりの支援を市長選において訴えていたが、高齢者の支援のための居場所整備と、支えあいのコミュニティづくりは重要と考えるがいかがか。</p> | | | | 市 長 |

發 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月26日

次のとおり通告します。

晴 忠 田 山 員 議

| | | | | |
|---|----|------|------|-----------|
| 発言の種別 | 質疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 「気象防災アドバイザー」の設置について</p> <p>(1) 近年、全国各地で豪雨や台風、地震などの自然災害が頻発しており、本市においても、令和6年の能登半島地震をはじめ、災害への備えの重要性が一層高まっているが、気象災害の予測と対応に特化した「気象防災アドバイザー」設置の必要性について、どのように考えているか。気象庁と連携し、設置や育成を進める予定はあるか。</p> | | | | 市 長 |
| <p>2 本市における「脳脊髄液減少症」の現状について</p> <p>(1) 交通事故やスポーツ外傷などをきっかけに脳脊髄液が漏れ出し、慢性的な頭痛やめまい、倦怠感、集中力の低下など、日常生活に大きな支障をきたす脳脊髄液減少症について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 本市では脳脊髄液減少症の現状について、どのように把握しているか。また、市内の医療機関から市へ当該疾患に関する情報提供や相談は行われているのか。</p> <p>イ 患者やその家族が安心して相談を受けられる体制と市民への啓発が必要と考えるが、どのように取り組むのか。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月27日

次のとおり通告します。

議 員 牧 井 邦 生

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 高田の歴史をいかしたまちづくりについて (1) 政治家の目線で上越の歴史を検討してみると、室町時代までの越後の歴史を徳川将軍に称えられ、日本政治のど真ん中に位置付けられて高田城が建設されたことが分かる。こうした歴史的な背景や遺産を残し活かしつつ、高田のまちづくりを大々的に見直す考えはないか。</p> <p>2 NHK連続テレビ小説「風、薫る」の活用について (1) 令和8年4月放送の連続テレビ小説「風、薫る」について、上越市とゆかりのある内容であることから、放送に向けて現在市として取り組んでいることや今後取り組もうとしていることがあるか聞きたい。</p> | | | | <p>市 長</p> <p>市 長</p> |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月27日

次のとおり通告します。

議員 西 沢 智 子

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 公共トイレの空間整備について (1) 公共トイレは子ども、高齢者、障害のある方、観光客を含む全ての方が利用する最も身近な公共インフラであるが、老朽化や照明の明るさなどの面で改善を求める声が多くあることから、今後の改善の方向性はどのように考えているのか。 | | | | 市 長 |
| 2 低出生体重児のおむつ購入支援について (1) 当市では未熟児養育医療給付制度による入院費用やミルク代の支援があるが、おむつは自己負担となっていることから、以下の点について聞きたい。 ア 低出生体重児の家族からのおむつ購入費の助成に関する相談の状況について聞きたい。 イ 未熟児養育医療給付制度の対象者におむつ購入費を助成する考えはあるか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月27日

次のとおり通告します。

議 員 伊 崎 博 幸

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 エネルギー政策と防災減災に関わる取組について</p> <p>(1) 県知事が柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を容認し、市長は11月25日の記者会見で、原発の必要性に関し「現在のエネルギー事情を勘案するとやむを得ない」と述べているが、その判断の具体的な根拠は何か。</p> <p>(2) UPZを抱える自治体として、住民アンケートや説明会など、住民の不安を把握する取組を強化する考えはあるか。また、把握した情報を基に当市のUPZ域内の特性（中山間地、豪雪地帯、高齢化等）を踏まえた支援強化策を検討する考えはあるか。</p> <p>(3) 複合災害（原子力災害と豪雪・地震等）への対応を強化する必要があると考えるが、市長が知事とUPZ圏内の7首長の会談で要望した「複合災害への対策」の内容について聞きたい。</p> <p>(4) 原発再稼働に不安を抱える市民が多い中、平常時から原子力防災対策についてどのように正しい情報を伝えていくのか。また、紙媒体離れがある若者や子育て世代に対する情報発信の工夫について聞きたい。</p> <p>(5) IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の委員である杉山大志氏の報告書によると、2050年までに二酸化炭素排出量をゼロにしたところで、気温は0.006℃しか下がらないとされているが、脱炭素社会の実現に向けた取組は上越市としてどのようなメリットがあると考えてるか。また、上越市第2次地球温暖化対策実行計画の見直しを行うべきではないか。</p> <p>(6) ソーラーパネルと防災減災について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 公共施設に設置されているソーラーパネルに関して、耐風、耐雪、老朽化リスク、落下防止策等の安全対策は万全か。</p> <p>イ 今後、確実に発生するソーラーパネルの廃棄処理時のリサイクルや不法投棄防止の課題に対して、市としてどのように市民や事業者に周知していくのか。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月28日

次のとおり通告します。

議 員 ストラットン 恵美子

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） | |
|---|-----|------|------|------------|-------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | | 答 弁 者 |
| 1 13 区の地域振興と活力向上について | | | | | 市 長 |
| (1) 市長公約である「13 区の地域振興と活力向上」について、以下の点における市長の考えを聞きたい。 | | | | | |
| ア 上越市創造行政研究所が進める持続可能な地区別まちづくりの支援手法の位置付けについて | | | | | |
| イ 総合事務所・地域協議会・まちづくり振興会等の連携の在り方について | | | | | |
| ウ 地域独自の予算事業の評価と今後の運用の方向性について | | | | | |
| エ 高齢者や学生の公共交通の充実について | | | | | |
| オ 観光振興の方向性について | | | | | |
| 2 「上越市第 4 次環境基本計画」の推進について | | | | | 市 長 |
| (1) これまでの取組をどう評価しているか。 | | | | | |
| (2) 市民が環境活動に積極的に参画し、身近に感じられる仕組みづくりについて市長の考えを聞きたい。 | | | | | |
| 3 「教育のまち、上越市」の推進について | | | | | 市 長 |
| (1) 教育を取り巻く課題について、市長部局と教育委員会の連携は重要であるが、どのように取り組んでいくのか。また、教育の質向上や人材育成において、上越教育大学との連携強化を図るべきと考えるがどうか。 | | | | | |
| 4 海の自然資源を活用した施策づくりについて | | | | | 市 長 |
| (1) 水産業の活性化、環境対策、観光振興などを通じた、海の自然資源を生かしたまちづくりについて、市として積極的に進める考えはないか。また、海の魅力発信は観光振興の強みになると考えるがどうか。 | | | | | |
| (2) 国際環境認証「ブルーフラッグ」の取得について、自治体として取り組む考えはないか。 | | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月28日

次のとおり通告します。

議 員 熊 倉 隆 将

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 上越市若者奨学金返還支援助成金について (1) 制度の利用人数等の実績を聞きたい。 (2) 市長は現在の制度をどう評価しているか。 (3) 市長は公約で奨学金支援の充実を掲げていたが、具体的にどのように拡充するのか。 | | | | 市 長 |
| 2 子どもの遊び場について (1) オーレンプラザや市民プラザのこどもセンターでは年齢制限が設けられており、この制限があることにより家族によっては利用しにくいといった状況も生まれている。市長が公約で13区に設置すると言っているこどもセンターについては、異なる世代の子どもも共存できる施設としてもらいたいがどうか。 (2) 現在、こどもの家は日曜日は利用できないが、利用できるように拡充してはどうか。 | | | | 市 長 |
| 3 物価高騰対策について (1) 物価高騰対策について、市長は国の動向を見た上で市としての対策を考えるとコメントをしているが、以下のことを聞きたい。 ア 国の物価高騰対策をどのように評価しているか。 イ 市としての対策について、特に支援が必要なのはどのような層と考えているか、理由も含めて聞きたい。また、支援の方法や時期、予算規模等はどうか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年11月28日

次のとおり通告します。

議 員 上 野 公 悦

| 発 言 の 種 別 | 質疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題について</p> <p>(1) 令和7年11月21日に花角知事は、原発の再稼働容認を表明した。市長は市民の安心安全を守ることが首長の第一の任務だと明言したが、原発の再稼働に関し、エネルギー事情を勘案すると「やむを得ない」とした意味は何か。</p> <p>(2) 県が行った県民意識調査では再稼働に反対・疑問とする回答が半数を上回り、県知事の再稼働容認の発表に否定的であることが明らかになった。また、新潟日報社が行った30キロ圏9市町村議会の議員180人を対象に行ったアンケートでも、いわゆる立地自治体では再稼働すべきだとする議員が多かったものの、UPZ自治体では「再稼働すべきではない」の声が多かった。このことから県知事の再稼働容認判断は、県民の声を反映したものではない。市長は「知事の判断を尊重する」とも言われたが、このことは市民の安心安全を守ることが第一の任務ということに照らしてそれでよしとするのか。再稼働の是非について明確な立場を直ちに示すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 花角知事に対し、再稼働容認判断の撤回・再考を求める申し入れと、再稼働是非の判断にあたっては、県民投票の実施など県民が直接意思を表明できる民主的な手続きを採るよう県に求めるべきだと考えるがどうか。</p> | | | | 市 長 |
| <p>2 市長公約について</p> <p>(1) 市長公約において、保育園の保育料と給食費の無償化を掲げているが、小中学校の給食費については、物価高騰による不足分を市が補填する対応に留まっており、完全無償化には至っていないことから、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 公約全体の一貫性という点で、市民に分かりやすい説明が必要と考えるがどうか。</p> <p>イ 同じ子育て世代でありながら、保育園児の家庭は無償化、小中学生の家庭は補填対応に留まるという状況は、世代間の不公平感を生みかねない。この差をどのように認識し、今後の政策展開で公平性をどう担保するのか。</p> <p>ウ 文部科学省は小学校給食費について、令和8年度から児童一人当たり月額4,700円を各自治体に交付する方向で検討を進めている。交付が実現した場合、市の補填分の取り扱いはどうする考えか。国は小学校を対象としているが、対象外である中学校給食費をどう扱うのか。また、国の交付額は平均水準に基づくため、完全無償化には至らない可能性がある。不足分を市が負担して完全無償化を目指すのか、それとも国の制度に合わせるのか、財政的な見通しを含めて市の見解を聞きたい。</p> <p>エ 政府の経済対策の中で、重点支援地方交付金として約2兆円規模で自治体に交付される見込みだが、当市への配分はどの程度を見込んでいるか。</p> <p>オ 重点支援地方交付金を活用して中学校給食費の支援を行い、公平性を確保する考えはないか。また、交付金を給食費に充てた場合の中学生の家庭に与える影響をどのように考えるか。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 降 旗 太 地

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 廃校の備品管理と活用について (1) 廃校になって残された備品（机・椅子・図書・楽器・電子機器・実験器具等）について、現在どのように管理しているか聞きたい。 (2) 他の学校や公共施設、地域団体、民間等で再活用可能な資産価値がある備品について、活用の判断や貸出・譲渡の基準、廃棄の判断など、基本的な方針を聞きたい。 | | | | 教育長 |
| 2 市長が掲げる「こどもセンター」の役割等について (1) こどもセンターの具体的なビジョンについて聞きたい。目的や機能、運用方法、地域との関わり方、既存の子ども施策との関連など全体像はどうか。 (2) こどもセンターを実現するにあたり、人材の確保をどのように考えているか。地域とつながる人材、子ども支援に関わる人材、専門的知識を持つ人材の確保方針はどうか。 (3) こどもセンターと市民活動団体や地域クラブ（スポーツ・文化芸術）の活動には高い親和性があると思うが、今後の協力体制や連携の方向性について考えを聞きたい。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 山 本 佳 洋

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） | |
|---|-----|------|------|-----------|-------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | | 答 弁 者 |
| 1 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題について | | | | | 市 長 |
| (1) 前市長は再稼働について慎重な姿勢を示していたが、市長は原発再稼働を容認した知事の判断を「尊重する」とした。これは市としての基本方針の変更と認識してよいのか。 | | | | | |
| (2) 東京電力に対する信頼性の判断基準を持ち得ていない状況で、知事の判断を尊重することが市民の安全確保につながると考えるのか。「万一の原発事故発生時に市民のいのちを守り抜く態勢を構築する」という公約の具体的な決意を聞きたい。 | | | | | |
| (3) 地震や豪雪と原発事故との複合災害時における避難や除雪体制に対して、市民から不安の声が上がっているが、どのように受け止めているか。 | | | | | |
| (4) 県による原発事故発生時の被ばく線量シミュレーションは、安全対策が機能した場合を想定したものであり、「新たな安全神話」につながるのではないかと懸念があるが、市長はシミュレーションをどのように評価しているか。 | | | | | |
| (5) 県民意識調査では、市民の過半数が再稼働や東京電力への信頼性に否定的な回答をしている。市民の不安や懸念（特に豪雪や東京電力への不信感）の解消に向け、11月14日の知事との意見交換でどのような意見を伝えたのか。 | | | | | |
| (6) 市民の過半数が否定的見解を示す現状において、真に市民の意思を問う手段として県民投票こそが適切と考えるが、市長の考えはどうか。 | | | | | |
| (7) 知事が県議会へ「信を問う」とした手法は妥当と認識しているか。市民の意思が明確に反映されないまま議論が進むことへの懸念はないか。 | | | | | |
| 2 県立松代病院の無床診療所化計画について | | | | | 市 長 |
| (1) 県が進める松代病院の無床診療所化に対する当市の考え方を聞きたい。 | | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 小 林 和 孝

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 観光振興について</p> <p>(1) 市長は活力ある地域経済・産業の発展への取組として、手つかずの観光資源を磨き上げ、上越独自の観光を展開するとしているが、手つかずの観光資源、上越独自の観光とは具体的にどのようなものか。</p> <p>(2) 将来にわたり国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費向上につながる地域・日本のレガシーとなる観光資源の形成を促すことを目的とした観光庁レガシー形成事業に、春日山城跡が「戦国最強の武将・『上杉謙信公』の魂が眠る戦国最強の山城『春日山城』の復元」として令和5年度、6年度に採択され、春日山城の復元実現可能性調査が行われるとともに、国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）などが示された。市長はこれをどのように評価しているか聞きたい。</p> <p>(3) 上越市通年観光計画をどのように進めていく考えか。</p> <p>(4) 上杉謙信公没後450年、生誕500年に向けた取組について、市長の考えを聞きたい。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 安 田 佳 世

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 地域自治について (1) 市長は地域自治の目指すべき姿をどのように考えているか。 (2) 地域独自の予算事業について、令和8年度事業への提案状況はどうか。 (3) これまで地域独自の予算事業について、補助率や提案時期の課題等について議論をしてきた。地域の団体等が地域のために行う活動について、より柔軟に支援を行うべきと考えるが、どうか。 | | | | 市 長 |
| 2 こどもセンターについて (1) 市長公約の「こどもセンター」について、施設概要や設置時期等をどのように考えているか。 (2) 現在市内で実施している2か所のこどもセンターおよび25か所の子育てひろばとの関係についてはどのように考えているか。 (3) 子どもたちの遊び場や居場所、多世代が交流できる場を作っている団体や人たちが各地で活動をしている。そのような方達の意見を取り入れた整備や、運営にあたっての連携等をするべきと考えるが、どうか。 | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 高山 ゆう子

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| 1 市長公約について | | | | 市 長 教育長 |
| (1) 災害への備えや地域防災力の向上として、避難所にエアコンを設置し、複合災害においても円滑に対応できるよう避難所の環境を改善するとしているが、当市の指定避難所 124 か所の多くが学校の体育館であることから、夏場の暑さ対策や冬場の寒さ対策を考慮し、エアコンの設置が必要と考える。また、体育館は学校教育の現場として子どもたちの学びの場であり、健康管理のためにもエアコンの設置が必要と考えるが、避難所及び教育の場、双方の視点で学校の体育館にエアコンを設置すべきではないか。 | | | | |
| (2) バリアフリー、美しく快適なトイレを通じた「人にやさしいまちづくり」を進めるとしているが、建設から 41 年が経過するリージョンプラザ上越は県内外から不特定多数の人々が訪れる施設として多目的トイレも含め複数のトイレがあるにもかかわらず、便座ブース内は和式から洋式に変えただけで古く狭くて使い難く、機能的にも美観的にも欠ける。また、屋外駐車場の公衆トイレも外観から清潔なトイレとは言い難いことから、早急に改善が必要ではないか。 | | | | |
| (3) 市民の多様な学びとして「上越市民塾」を開講し、老若男女、幅広い世代に「学び」と「育ち」の機会を提供するとしているが、具体的にどのようなものと考えているのか。 | | | | 市 長 |
| 2 高齢者の健康増進とグラウンド・ゴルフについて | | | | 市 長 |
| (1) 近年グラウンド・ゴルフは、高齢者の健康増進に非常な有効なスポーツとして注目されている。また、身体的な効果だけでなく精神的、社会的な健康にも良い影響をもたらし、「高齢社会における生きがいとしてのスポーツ」とも言われている。当市でも令和 6 年から福祉交流プラザ内のグラウンドをグラウンド・ゴルフ場として位置付けたところであるが、市民の認知度や利用状況を聞きたい。高齢者のさらなる健康増進のために、より一層力を入れて施設を整備するとともに、市民に対して積極的に周知すべきと考えるがどうか。 | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 宮 川 大 樹

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|---|-----|------|------|-----------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 物価高騰対策について</p> <p>(1) 小菅市長は物価高騰対策を最優先に対応すると表明しているが、市民は早期の実現を望んでいると考える。そこで、以下の3点について聞きたい。</p> <p>ア 小菅市長は国の物価高騰対策の動向を見た上で対策を考えたいとしているが、現時点における有効な対策はどのようなものと考えているか。</p> <p>イ 国は自治体が使途を決められる重点支援地方交付金の拡充を決めた。その中で市民の家計を助ける政策としてプレミアム商品券やお米券が注目されているが、市長の考えはいかがか。</p> <p>ウ 市がこれまでに実施した企業や個人事業主向けのエネルギー価格高騰支援金が物価高騰対策として有効と考えるが、市長の考えを聞きたい。</p> | | | | 市 長 |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 橋 爪 法 一

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|-----------------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 県立病院について</p> <p>(1) 県立松代病院の無床診療所化について市の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 県立柿崎病院は、これまで県が市への移譲の道を探るなどの動きがあった。現段階で、県はどのような方針を市に示しているのか。</p> <p>2 市民の消火栓使用について</p> <p>(1) 令和7年9月定例会の橋本洋一議員の一般質問の中で前市長は、「消防庁、県防災局、上越地域消防事務組合の市民の消火栓使用に関する見解を確認した」と述べたが、それぞれの組織の見解を改めて聞きたい。</p> <p>(2) 令和7年11月20日の吉川区地域協議会では、市民の消火栓使用に関して自主的な審議が行われ、今後も審議を続けることが確実な情勢となっている。市民の消火栓使用をめぐる諸課題をもう一度整理して、着地点を探るべきではないか。</p> | | | | <p>市 長</p> <p>市 長</p> |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 平良木 哲也

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討論（賛成・反対） | |
|--|-----|------|------|-----------|-------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | | 答 弁 者 |
| 1 上越地域医療センター病院の建て替えについて | | | | | 市 長 |
| (1) センター病院の建て替えの必要性をどのように認識しているか。 | | | | | |
| (2) 建て替え先送りに関して、今年度予算で一定の応急対策が講じられたとされているが、どの程度の効果があると認識しているか。 | | | | | |
| (3) 建て替え先送りによる診療活動への影響、患者の利便性への影響、病院のスタッフのモチベーションへの影響をどのように把握しているか。また、当市の住みやすさの向上や人口確保への影響をどのように考えているか。 | | | | | |
| (4) 同病院は、大規模地震等の災害発生時には治療が必要な住民を受け入れることが必要になると考えるが、現在の施設や設備が大規模地震等に耐え、市民の受け入れと治療がスムーズに行えると認識しているか。 | | | | | |
| (5) 上越地域医療構想調整会議における議論の同病院への影響をどのように考えているか。 | | | | | |
| (6) 市民の命と健康を守ることが市政の第一義の責務であることを考えると、上越地域医療構想調整会議の議論の行方や、今行っているとされる専門家による経営改善指導の見通し・改築規模・建設費軽減の如何に関わらず、すぐに補正予算を計上するか、遅くとも来年度当初予算には計上して建て替えに着手すべきではないか。 | | | | | |
| 2 市長が公約として掲げている「切れ目のない子育て支援」について | | | | | 市 長 |
| (1) 当市の子育て支援施策のうち、“切れ目”はどこにあるとの認識からこのような公約を掲げたのか。 | | | | | |
| (2) 子育て支援の対象はどの時点からどの時点までと考えているのか、また、それぞれの時点の子育て支援について、当市の施策の優位点と不十分な点をどのように認識しているか。 | | | | | |
| (3) 13 区内に「こどもセンター」を整備するとしているが、「13 区」とした理由は何か。また、地域性の他にどのような必要性や目的・機能を考えての公約か。 | | | | | |
| 3 公共施設の整備の方針について | | | | | 市 長 |
| (1) 前市長はここ数年、「行政改革」と称して市内公共施設の統廃合を進めてきたが、「こどもセンター」を整備するという方針は前市長の姿勢を転換し、市民生活に必要な施設は新たな整備を含めて各地域に適切に整備していくという姿勢であると理解してよいか。 | | | | | |

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年12月1日

次のとおり通告します。

議 員 滝 沢 一 成

| 発 言 の 種 別 | 質 疑 | 一般質問 | 緊急質問 | 討 論（賛成・反対） |
|--|-----|------|------|------------|
| 項 目 ・ 要 旨 | | | | 答 弁 者 |
| <p>1 第7次総合計画について</p> <p>(1) 令和5年度に策定された上越市第7次総合計画は市の最上位計画であり、計画期間は令和12年度までと定められている。総合計画には「将来都市像」、5つの「基本目標」、4つの「重点テーマ」等が示されている。一方市長は、この度の市長選挙で4つの大項目「みんなの笑顔あふれるところ」「すべての産業いきいきと」「こどもと家族を真ん中に」「多様な学び広がって」を柱とするマニフェストを掲げている。この両者の整合性に関し、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 上越市第7次総合計画の「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」という将来都市像についてどのように評価しているか。この方針を見直していく考えはあるか、あるいは堅持するのか。</p> <p>イ 将来都市像の実現に向けた5つの基本目標「支え合い、生き生きと暮らせるまち」「安心安全、快適で開かれたまち」「誰もが活躍できるまち」「魅力と活力があふれるまち」「次代を担うひとを育むまち」についてどのように評価しているか。この方針を見直していく考えはあるか。</p> <p>ウ 人口減少、少子高齢化、社会潮流への対応という当市が直面する重要課題を踏まえ、4つの重点テーマ「活動人口の創出」「地域活力の創造」「地域DXの推進」「脱炭素社会の形成」が設定されているが、どのように評価しているか。この方針を見直していく考えはあるか。</p> <p>エ 重点テーマ「地域活力の創造」において「住民自治の推進」を主な取組として示している。住民自治についての基本的な考え方を聞きたい。また、「地域独自の予算事業」については、今後どうするのか。</p> <p>オ 総合計画策定にあたり多くの市民意見が聴取され「まちづくりに対する市民の意見」としてまとめられている。また「当市の魅力とありたい姿」が整理されている。「市民一人ひとりに寄り添う」ことを約束している市長にとって貴重な情報であるので、あらためて精査してほしいがどうか。</p> | | | | 市 長 |